

## 芦別白光舎 令和 5 年度 事業報告書

### 1. 総括

障害の有無等に制限のない社会事業授産施設として、就職の困難な利用者の受入れに取り組み、その役割を果たすため福祉事務所との連携を強化し、保護世帯利用者の受入れ、またはそれに準ずる生活困窮者、利用障がい者の受入れ、支援に努めてまいりました。

また、基準該当就労支援 B 型施設としての障がい者の受入れにつきましては、就労希望の利用者を積極的に受入れ対応してまいりました結果、3 月末の B 型支援利用者は 19 名となり、事業授産利用者 33 名と合わせて合計 52 名が就労しております。

「働く・暮す」の支援の充実については、福祉施策と労働施策の両面にわたり積極的に取り組み、高工賃の支給、個人の能力・体力等に合わせた就労日時を設定し、就労環境を整備してまいりました。

さらに、施設外の生活困窮者への救済事業として、北海道社会福祉協議会と連携し、「安心サポート事業」を継続しており、相談支援、緊急対応、経済的援助等、制度の狭間の方々に対し、地域の相談窓口としての見守り活動を実施しており、令和 5 年度の相談者について 2 件の相談があり、それぞれサポートを実施いたしました。

作業の安定化、作業効率の向上については、新型コロナウイルスが 5 類に移行され、特にリネンサプライ事業は大きく回復し、作業量が増加いたしました。

ユニフォームクリーニングについては取引先も安定し、さらに新規の取引先もできたことから良好な成果となっております。

サービスの安定提供につきましては、授産事業作業量の確保のため、ユニフォーム業務の拡大とリネンサプライ事業の拡幅、または洗濯料金の値上げにより、高工賃の支給につなげることができました。また、利用者のニーズに応えるため個別面談を実施し、利用者の安心・安全な生活の実現に向けて、生活支援、家庭訪問等も随時必要に応じて実施いたしました。

具体的な運営状況については以下のとおりです。

### 2. 施設利用者状況(令和 6 年 3 月 31 日現在)

| 区 分  | 定員   | 利用種別       | 人数   | 備 考 |
|------|------|------------|------|-----|
| 事業授産 | 33 人 | 低所得者       | 28 人 |     |
|      |      | 保護世帯       | 5 人  |     |
|      |      | うち (知的障がい) | 5 人  |     |
|      |      | (身体障がい)    | 1 人  |     |

|                         |      |         |      |        |
|-------------------------|------|---------|------|--------|
|                         |      | (精神疾患)  | 0 人  | 精神科通院中 |
|                         |      | (ひとり親)  | 0 人  |        |
|                         |      | (その他)   | 27 人 |        |
|                         |      | 合計      | 33 人 |        |
| 就労継続<br>B 型支援<br>(基準該当) | 19 人 | (知的障がい) | 8 人  |        |
|                         |      | (身体障がい) | 3 人  |        |
|                         |      | (精神疾患)  | 7 人  |        |
|                         |      | (特定疾患)  | 1 人  |        |
|                         |      | 合計      | 19 人 |        |
| 合 計                     | 52 人 |         | 52 人 |        |

### 3. 経営状況

授産事業につきましては、リネンサプライ事業の売上がインバウンド(訪日外国人旅行者)の増加と推測しますが、大幅な増額となりました。ユニフォーム事業においても、新規顧客増が実現できたため、授産事業総収入は 209,376,217 円で過去最高額となり、前年度対比においても 29,157,453 円の大幅な収入増となりました。

福祉サービス等事業収益においては利用者増の影響もあり、20,654,646 円で前年度対比 1,770,590 円の増額となり、授産施設事務費も合計すると事業活動収入の合計は 271,863,961 円となり、前年度対比 33,640,761 円の増額となりました。

一方、支出においては労務費、燃料費、資材の値上げによる消耗品費の増加により 232,361,675 円となり、前年度対比 17,767,139 円の増額となりましたが、収支差額は 39,502,286 円で前年度対比 15,873,622 円の利益増となりました。

サービス活動外収支を含めた当期活動増減差額は 43,409,511 円で前期繰越活動増減差額の 133,653,309 円をプラスし積立預金を 30,000,000 円とした結果、次期繰越活動増減差額は 147,062,820 円になりました。

収益事業の収入合計は 63,695,415 円で前年度対比 811,725 円の増額となっておりますが、その内訳は清掃会計で 1,313,312 円の増額、病院売店会計でマイナス 196,341 円、市役所売店会計でマイナス 305,246 円となっております。

一方支出においては、58,644,812 円で前年度対比 384,368 円の増加となっております。その結果、本部会計に清掃会計より 5,000,000 円と売店会計より 600,000 円、合計で 56,000,000 円を繰り入れております。

結果、授産事業、収益事業は共に運営は順調です。

#### 4. 各種事業活動結果

| 年・月・日     | 事業活動内容                | 摘要        |
|-----------|-----------------------|-----------|
|           | <b>【諸会議の開催】</b>       |           |
| 随時        | 理事会の開催(書面会議を含む)       | 年間 6 回    |
| 随時        | 評議員会の開催(書面会議を含む)      | 年間 2 回    |
| 毎月        | 職員会議の開催               |           |
| 毎日        | 職員ミーティング              |           |
|           | <b>【監査】</b>           |           |
| 定期        | 巡回監査(さくら総合会計事務所)      | 年間 6 回    |
|           | 監事監査                  | 年間 4 回    |
| 定期        | 運営指導(芦別市福祉事務所)        | 年間 1 回    |
|           | <b>【親睦事業】</b>         |           |
|           | 観桜会                   | 中止        |
| 6 月 14 日  | 焼肉会(敷地内)              | 職員・舎員・利用者 |
|           | ふれあい広場(みやもと公園)        | 中止        |
| 12 月 16 日 | 勤労者共済会クリスマスパーティ       | 参加申込書     |
|           | 忘年会                   | 中止        |
|           | 新年会                   | 中止        |
|           | 雑煮会                   | 中止        |
|           | <b>【健康管理事業】</b>       |           |
| 随時        | 第 1 回 健康診断            | B 型利用者    |
| 1 月 17 日  | 第 2 回 健康診断            | 職員・利用者    |
|           | <b>【避難訓練】</b>         |           |
| 5 月 25 日  | 自然災害総合訓練(通報・避難・消火・救助) | 職員・利用者    |
| 10 月 12 日 | 自然災害・火災避難訓練           | 職員・利用者    |
|           | <b>【福祉サービス事業】</b>     |           |
| 随時        | 三者面談                  | 利用者・保護者   |
| 随時        | 個人面談                  | 利用者       |
| 随時        | 家庭訪問                  | 利用者       |
|           | <b>【研修・出張】</b>        |           |
| 8 月 22 日  | 北海道社会就労センター研修会        | 1 日間(1 名) |
| 9 月 2 日   | 光生舎主催(リースキン代理店会議)     | 1 日間(1 名) |
| 9 月 13 日  | 全国社会就労センター総合研究大会(大分県) | 4 日間(1 名) |
| 10 月 2 日  | 芦別市防火安全協会視察研修会        | 1 日間(1 名) |
| 10 月 24 日 | 北海道身体障害者授産施設連絡協議会     | 2 日間(2 名) |
| 10 月 26 日 | 身体障害者福祉施設職員研修会        | 1 日間(1 名) |

|           |                                                   |           |
|-----------|---------------------------------------------------|-----------|
| 11 月 21 日 | 札幌刑務所見学会・出所者等雇用セミナー                               | 1 日間(1 名) |
| 1 月 19 日  | 社会福祉施設長資格認定講習(スクーリング)                             | 6 日間(1 名) |
| 2 月 12 日  | 福祉医療機構・福祉貸付金借入申込/厚生労働省等・補助金内示お礼/議員会館・補助金内示報告(4 名) | 3 日間(3 名) |
| 2 月 20 日  | 全国社会就労センター長研修会                                    | 3 日間(1 名) |
| 3 月 12 日  | 北海道社会就労センター研修会・総会                                 | 1 日間(1 名) |

注記      令和 5 年度事業報告には、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する付属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。

## 令和5年度 ケアハウスあしべつ事業報告書

### 1 総括

ケアハウスあしべつは、平成18年4月に運営を開始してから18年が経過しました。当施設は、芦別市における高齢化の進行により単身生活に不安を抱える方々が増加している状況にあって、高齢者の住まいとして市民のニーズに応えるべく、定員50人で事業展開しています。また、定員のうち30人については介護保険事業である特定施設入居者生活介護（介護予防を含む。）の指定を受け、入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上のお世話を行い、介護を要する入居者様への対応を行っています。

処遇面については、当施設の掲げる『私たちは、入居者様一人ひとりを敬愛し、笑顔・思いやり・親切・丁寧・誠実・公平の姿勢で取り組み、信頼される施設を目指します。』の基本理念のもと、入居者様やご家族が安心できる施設づくりを目指し、入居者様のライフスタイルを尊重して健康で安全なゆとりある生活ができるよう、個々のニーズに合った良質なサービスの提供に努めました。

経営面では、一般ケアハウスで収入を増やした一方で、特定施設入居者生活介護で収入を大きく減らした結果減収となり、また定期昇給やベースアップ、職員の新規雇い入れなどにより人件費が増加したほか、クラスター対応で多額の支出を余儀なくされたことにより事業費も増加し、大幅な減益となりました。本部会計からの繰り入れもあり最終的に僅かに当期資金収支差額を残すことができましたが、物価高による来期以降の更なる経費の増加も予想され、経営への不安を残す結果となりました。そうした中で、空室対策での関係機関との連携強化が成果を見せ始め、満室で年度末を迎えることができ、また待機者も僅かながら増加させることができました。

コロナウイルス関連では、20人規模のクラスターに二度も見舞われましたが、幸い入居者様に入院が必要となるような重症化例は1件もなく収束することができました。二度目のクラスターの収束を機に面会や外出制限の緩和に向けて舵を切り、ケアハウスならではの家族との時を選ばぬ触れ合いや地域との交流による『悦び、愉しみ、癒し、生きがいの提供』という施設本来の役割を果たすべく、制限の完全撤廃に向けた協議も開始しました。

### 2 施設入居状況（ケアハウス全体/定員50人）

#### (1) 月末入居者数

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均   |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 男性 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12  | 12  | 12  | 12 | 13 | 14 | 12.3 |
| 女性 | 34 | 34 | 35 | 36 | 37 | 37 | 35  | 37  | 37  | 36 | 36 | 36 | 35.8 |
| 合計 | 47 | 46 | 47 | 48 | 49 | 49 | 47  | 49  | 49  | 48 | 49 | 50 | 48.1 |

【居室稼働率】 96.2%（前年度95.0%）

#### (2) 月別入居・退居者数

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 入居 | 1  | 0  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0   | 3   | 0   | 0  | 1  | 1  | 10 |
| 退居 | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 2   | 1   | 0   | 1  | 0  | 0  | 6  |

### (3) 年齢内訳（令和6年3月31日現在）

|     | ～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85～89歳 | 90～94歳 | 95～99歳 | 100歳～ | 合計     |
|-----|------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 男性  | 1    | 2      | 3      | 4      | 4      | 0      | 0     | 14     |
| 女性  | 1    | 1      | 5      | 14     | 6      | 6      | 3     | 36     |
| 合計  | 2    | 3      | 8      | 18     | 10     | 6      | 3     | 50     |
| 構成比 | 4.0% | 6.0%   | 16.0%  | 36.0%  | 20.0%  | 12.0%  | 6.0%  | 100.0% |

【平均年齢】 88.1歳（最高年齢103歳/最低年齢73歳）

## 3 施設利用状況（特定施設入居者生活介護事業再掲/利用定員30人）

### (1) 月末利用者数

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均   |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 男性 | 9  | 8  | 8  | 8  | 8  | 8  | 8   | 8   | 8   | 8  | 8  | 9  | 8.2  |
| 女性 | 18 | 18 | 19 | 20 | 21 | 21 | 19  | 21  | 21  | 21 | 21 | 21 | 20.1 |
| 合計 | 27 | 26 | 27 | 28 | 29 | 29 | 27  | 29  | 29  | 29 | 29 | 30 | 28.3 |

【利用率】 94.3%（前年度93.3%）

### (2) 要介護度内訳（令和6年3月31日現在）

|     | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1  | 要介護2  | 要介護3  | 要介護4 | 要介護5 | 合計     |
|-----|------|------|-------|-------|-------|------|------|--------|
| 男性  | 0    | 0    | 6     | 1     | 1     | 1    | 0    | 9      |
| 女性  | 1    | 1    | 13    | 3     | 2     | 1    | 0    | 21     |
| 合計  | 1    | 1    | 19    | 4     | 3     | 2    | 0    | 30     |
| 構成比 | 3.3% | 3.3% | 63.3% | 13.4% | 10.0% | 6.7% | 0.0% | 100.0% |

【平均要介護度】 1.5（前年度1.7）

## 4 経営状況

『事業活動収入』は、二つの大きな柱のうち、家賃や食費等に相当する利用料及び入居者数によって受けられる北海道補助金等を計上する『老人福祉事業収入』が、前年度を上回る利用率であったことにより前年度比550,167円増、特定施設入居者生活介護利用者が負担する介護サービス利用料及び介護報酬を計上する『介護保険事業収入』が、要介護度の高い利用者が減少したことにより同1,671,369円減、などにより合計で同1,042,287円減の140,379,162円となりました。

『事業活動支出』は、三つの大きな柱のうち、『人件費支出』が、定期昇給やベースアップ、期末手当支給率の改定、職員の新規雇入れ等により前年度比4,330,826円増、『事業費支出』が、利用率の向上による給食費の増加やクラスター対応支出の増加により同445,511円増、『事務費支出』が、修繕費の減少等により同295,113円減、などにより合計で同4,274,260円増の131,827,310円となりました。

以上により、本業の損益を示す『事業活動資金収支差額』が、前年度比5,316,547円減の8,551,852円となり、これに本部会計からの繰入金2,000,000円を加えて設備資金借入金償還10,310,000円を差し引いた結果、『当期資金収支差額』として241,852円を残すことができ、『前期末支払資金残高』35,531,048円と合わせて『当期末支払資金残高』が

35,772,900 円となりました。

## 5 主な行事

|      |               |
|------|---------------|
| 4 月  | 創立 17 周年記念茶話会 |
| 7 月  | ジンギスカンパーティー   |
| 8 月  | 流しソーメン        |
| 9 月  | 敬老会           |
| 11 月 | 洋服販売会         |
| 1 月  | 新年会           |
| 2 月  | 節分            |
| 3 月  | ひな祭り、おやつ会     |

\*その他、毎月誕生会を実施した。

## 6 職員研修状況

| 対 象 職 員   | 研 修 名                                                    | 主 催 者      |
|-----------|----------------------------------------------------------|------------|
| ＜外部研修＞    |                                                          |            |
| 施 設 長     | ・介護労働者雇用管理責任者講習（札幌市）                                     | 介護労働安定センター |
| 生 活 相 談 員 | ・相談援助職員専門研修（配信）                                          | 北海道社会福祉協議会 |
| 栄 養 士     | ・栄養士専門研修（配信）                                             | 〃          |
| 看 護 職 員   | ・看護職員専門研修（配信）                                            | 〃          |
| 介 護 職 員   | ・リスクマネジメント研修（配信）                                         | 〃          |
|           | ・高齢者虐待防止セミナー（配信）                                         | 〃          |
|           | ・医療の基礎知識講座（配信）                                           | 〃          |
|           | ・認知症ケア特別研修（配信）                                           | 〃          |
|           | ・認知症ケア（食事ケア）特別研修（配信）                                     | 〃          |
|           | ・メンタルヘルス研修（配信）                                           | 〃          |
| ＜内部研修＞    |                                                          |            |
| 全 職 員     | ・身体拘束廃止研修<br>『身体拘束をなくすための車いすやいす』<br>『緊急やむを得ない身体拘束に対する認識』 |            |
|           | ・事故防止研修<br>『誤嚥による窒息、誤嚥による肺炎』<br>『事故防止の知識』                |            |
|           | ・ハラスメント研修<br>『職場における権利侵害の防止について』                         |            |
| 介 護 職 員   | ・感染防止研修<br>『正しい手洗いの実践』                                   |            |
| 新 採 用 職 員 | ・身体拘束廃止適正化及び事故防止研修                                       |            |

注記 令和 5 年度事業報告には、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する付属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成していません。